

(第2報)

奈良女子大学文学部人文社会学科

履修コースの再編について

履修コースの再編は令和4（2022）年度入学者より適用されます。
この第2報は、再編前後のコースの対応関係をお伝えするものです。

再編の概要・趣旨も再掲しています。

各コースの内容は第1報をご覧ください。

履修コース再編の概要(第1報の再掲)

奈良女子大学文学部の人文社会科学科には、現在、5つの履修コース（古代文化学・歴史学・社会情報学・地域環境学・文化メディア学）がありますが、令和4年（2022）度入学者からは、歴史学コース・地理学コース・社会学コースに再編した、全3コースからなる履修コースとする予定です。

コースで学べる内容の対応図

2021年度入学生まで

古代文化学コース

歴史学コース

地域環境学コース

社会情報学コース

文化メディア学コース

2022年度入学生から

歴史学コース

地理学コース

社会学コース

【図の見方】 2021年度までの古代文化学コースと歴史学コースでの学修内容は新しい歴史学コースで学べるなど、再編前の各コースで学修できていた内容は、ほぼすべて再編後の3コースのいずれかで学ぶことができます。

履修コース再編の趣旨（第1報再掲）

人文社会科学における履修コースの、3コース体制（歴史学コース・地理学コース・社会学コース）への再編により、学科としての学際的な学びの機会を従来どおり維持したうえで、個々の学びと学問分野との関連をいっそう明確にし、より体系的で専門性の高い学修や卒業研究へとつなげます。また、自らが何を学んでいるのかを一層明瞭とすることで、学生ひとりひとりの対外的な発信力や自己アピール力の強化をはかります。